



お お とり
大 鴻

平成 30 年 4 月 27 日

文責：校長 三代 俊也

のつはる合宿で附中生に！



18日～20日の3日間、素晴らしい天気の中で1年生の「のつはる合宿」が行われました。この3日間の集団訓練や、ウォークラリー、自主学习、学級目標づくり

等々の活動で心も行動も「附属中生らしく」なったようです。「気品と芯の強さ」を兼ね備えた附中生になれるようFight!

学力調査（国・県） 終わる

17日に全国学力学習状況調査（3年）、1・2年生はNRT検査、24日に県学力定着状況調査（2年）を行いました。附属中は県の平均を大きく上回り、附属の全国平均をやや上回る状況ですが、個人レベルで見るとまだまだ改善の余地があります。1年生のうちに苦手教科を克服しておけば、3年生で楽になります。やるのは今です！



30年度附属中学校の改革

昨年度のPTA総会でお知らせした附属改革・働き方改革が具体化され、今年度は大きな改善を実行します。

- ① 「主体的・協働的で深い学び」の授業実践
- ② 地域の先生方を校内研究会に受け入れ一緒に研修
- ③ 提案文書ペーパーレス化
- ④ 学年集金の口座引き落とし
- ⑤ 部活動指導員の導入（卓球部）
- ⑥ 部活動をしない日、週2日の徹底
- ⑦ インターアクトクラブを通じた地域との連携強化
- ※ 体育館床の張替え

①と②は、アクティブラーニングと呼ばれる学習形態への移行に伴う取り組みです。グローバル人材の育成とともに、授業改善を進めます。

③と④は、学級担任の授業や生徒指導以外の業務を少なくするための取り組みです。印刷や集金業務に係る時間を減らすとともに、無用な金銭トラブルの防止も期待できます。

⑤と⑥は、部活動を洗練させる取り組みです。これまでの部活動サポーターに加え、指導に責任を伴う部活動指導員を活用することで、学習との両立を図りながら安全でより専門的な指導を行うことが可能となります。

⑦は生徒の奉仕の精神と海外交流を目的としていますが、母体となるロータリークラブを通して地域との連携強化を図ることも可能となります。能楽師の武田友志氏による能楽鑑賞もロータリークラブの協力で実現できました。

この他に、改革ではありませんが、環境整備として体育館の床の張替えを行います。床の傷みがひどく、ところどころ床がたわんだり、ささくれのような突起ができてい



ます。安全管理上問題があるため、優先して改修を行うことになりました。エアコンの修理やグラウンドのネット等も良くなりなければなりません、もうしばらく時間がかかります。

能の鑑賞 本物を知ることの大切さ



25日、世界で一番古い舞台芸術と言われる能楽を2年生が学習しました。観世流能楽師の武田友志氏をお招きし、能の歴史や狂言との違いなどのお話をいただいた後、『羽衣』や『高砂』などの演目を間近で披露していただきました。ビデオ等で見るのと違い、迫力が違

います！ 本校は、「本物を知り、本物を体験する」ことを学校経営方針に謳っています。本物で学ぶ機会を今後も増やしていく予定です。7月7日に能楽堂で公演を行うそうです。

生徒会で活性化を！

26日、前期生徒総会が行われ、前期の活動方針が活発に審議され決定しました。生徒会長の平井健慎君がスローガンに「意識・徹底・継続」を掲げ、ステップアップをしながら成長できる学校づくりを訴えました。全校一丸となって、日々の生活を変えていこう！



◇◇◇ 5月の諸活動 ◇◇◇

- 5/1 四校園集会
- 5/8 PTA 合同役員会
- 5/14 実習 B 開始（6/1 まで）
- 5/19 体育大会
- 5/29 学校評議員会・学校評価委員会